

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月31日

計画の名称	6 災害に強い道路ネットワークの形成（防災・安全）																									
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	富山県、立山町																							
計画の目標	近年多く発生している交通災害を防止するため、老朽化した道路ストックの点検および修繕等を実施し、第3者被害の軽減に努める。大災害時に、長期間・広範囲かつ大規模な避難活動、救援活動や救急・救出救助活動が迅速に行われるとともに、国民の生命・身体・財産が守られ、経済社会活動が円滑に行われることを確保するため、特に寸断されやすい道路の橋梁部や斜面法面部の防災対策の強化を行い、移動・活動ルートの多重化を促進する。																									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 橋長15m以上の県管理橋梁のうち、計画期間内（H23～H27）に約3%の橋梁において、橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施する。 橋長15m以上の県管理橋梁の耐震補強率を、約85%（H23）から約90%（H27）へ上昇させる。（代替道路等も考慮） 県管理道路の斜面法面における防災対策率を、約24%（H23）から約26%（H27）へ上昇させる。（代替道路等も考慮） 																									
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(橋梁長寿命化修繕率) = (計画期間内に橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕した橋梁数) / (全橋梁数) (%)</td> <td>0%</td> <td>1%</td> <td>3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(耐震補強率) = (3箇年プログラム並の耐震補強を実施した橋梁数) / (全橋梁数) (%)</td> <td>85%</td> <td>89%</td> <td>90%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(防災対策率) = (道路防災点検における要対策箇所(落石・岩盤)のうち対策を実施した箇所数) / (全要対策箇所数) (%)</td> <td>24%</td> <td>25%</td> <td>26%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	(橋梁長寿命化修繕率) = (計画期間内に橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕した橋梁数) / (全橋梁数) (%)	0%	1%	3%		(耐震補強率) = (3箇年プログラム並の耐震補強を実施した橋梁数) / (全橋梁数) (%)	85%	89%	90%		(防災対策率) = (道路防災点検における要対策箇所(落石・岩盤)のうち対策を実施した箇所数) / (全要対策箇所数) (%)	24%	25%	26%	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																					
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																							
(橋梁長寿命化修繕率) = (計画期間内に橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕した橋梁数) / (全橋梁数) (%)	0%	1%	3%																							
(耐震補強率) = (3箇年プログラム並の耐震補強を実施した橋梁数) / (全橋梁数) (%)	85%	89%	90%																							
(防災対策率) = (道路防災点検における要対策箇所(落石・岩盤)のうち対策を実施した箇所数) / (全要対策箇所数) (%)	24%	25%	26%																							
全体事業費	合計 (A+B+C)	10,698 百万円	A	10,276 百万円	B	0 百万円	C	421 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.9%																

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
富山県土木部道路課	平成28年3月 公表の方法 富山県ホームページ

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	橋梁の長寿命化計画に基づき修繕を進めたことにより、橋梁の修繕率が向上し、安全な道路交通の確保が進んだ。道路橋梁の耐震補強を進めたことにより、耐震補強率が向上し、災害時の道路交通の確保に寄与した。道路法面の防災対策を進めたことにより、要対策箇所の対策率が向上し、災害時の道路交通の確保に寄与した。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（橋梁長寿命化修繕率）	最終目標値	3%	目標値と実績値に差が出た要因	補正予算の活用により、長寿命化計画に基づく橋梁の修繕率が目標以上に進捗した。
		最終実績値	16%		
	指標②（橋梁の耐震補強率）	最終目標値	90%	目標値と実績値に差が出た要因	補正予算の活用により、橋梁の耐震補強対策が目標以上に進捗した。
		最終実績値	98%		

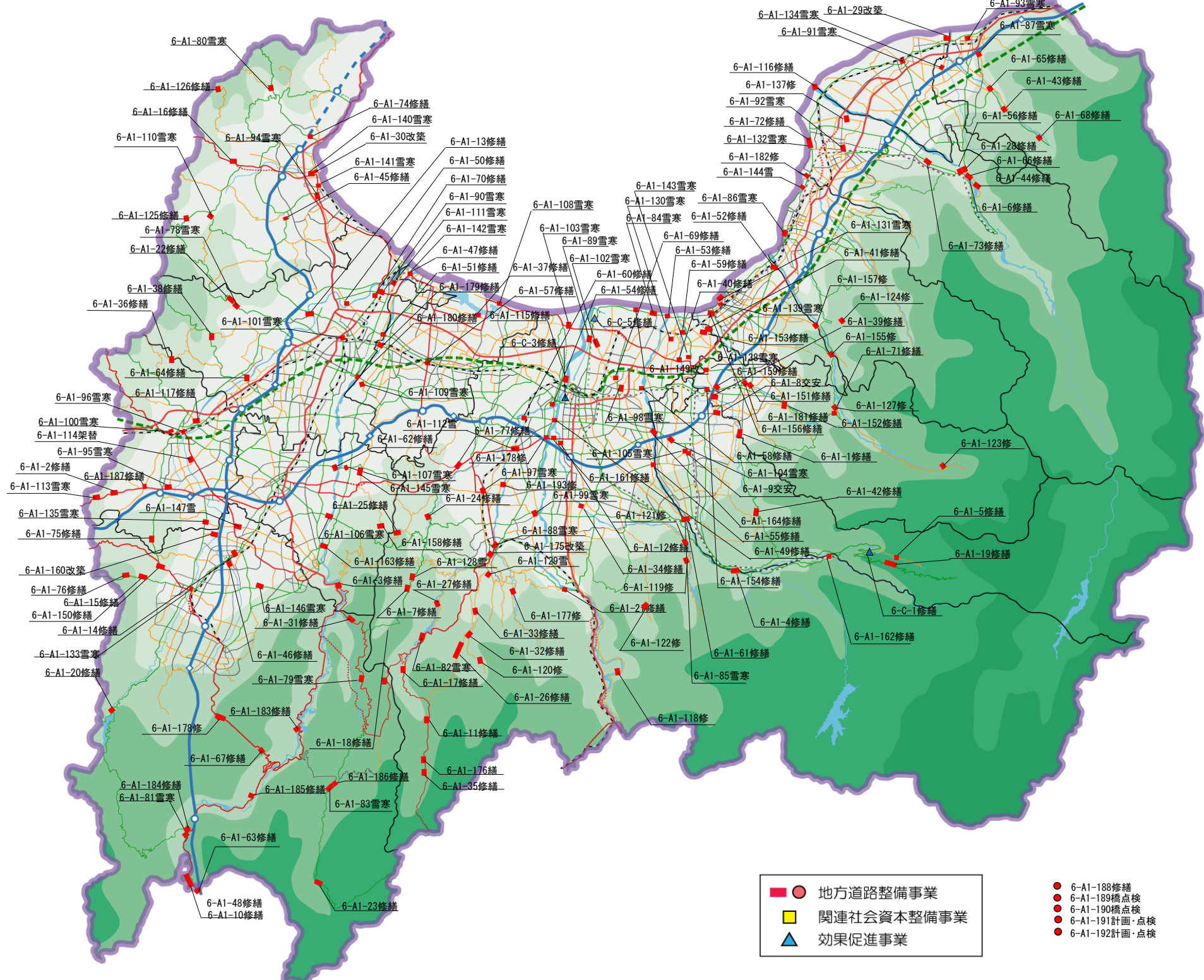
指標③（道路斜面の防災対策率）	最終目標値	26%	目標値と実績値に差が出た要因	補正予算の活用により、道路斜面の防災対策率が目標以上に進捗した。
	最終実績値	28%		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

3. 特記事項（今後の方針等）

(参考図面)

計画の名称	6 災害に強い道路ネットワークの形成 (防災・安全)	交付団体	富山県、立山町
計画の期間	平成23年度～平成27年度 (5年間)		



- 地方道路整備事業
- 関連社会資本整備事業
- ▲ 効果促進事業

- 6-A1-188修繕
- 6-A1-189橋点検
- 6-A1-190橋点検
- 6-A1-191計画・点検
- 6-A1-192計画・点検